

堺泉北港港湾計画 -改訂-

資料4-3



堺泉北港への要請・港湾計画改訂の方針

【堺泉北港の役割】

- ・ 大阪再生に貢献し、独自性をもつ物流拠点
- ・ 水際線の開放とみなとのにぎわい向上
- ・ 大阪湾の水質改善を図り、豊かで快適な海辺環境の創造
- ・ 広域的な防災機能の支援

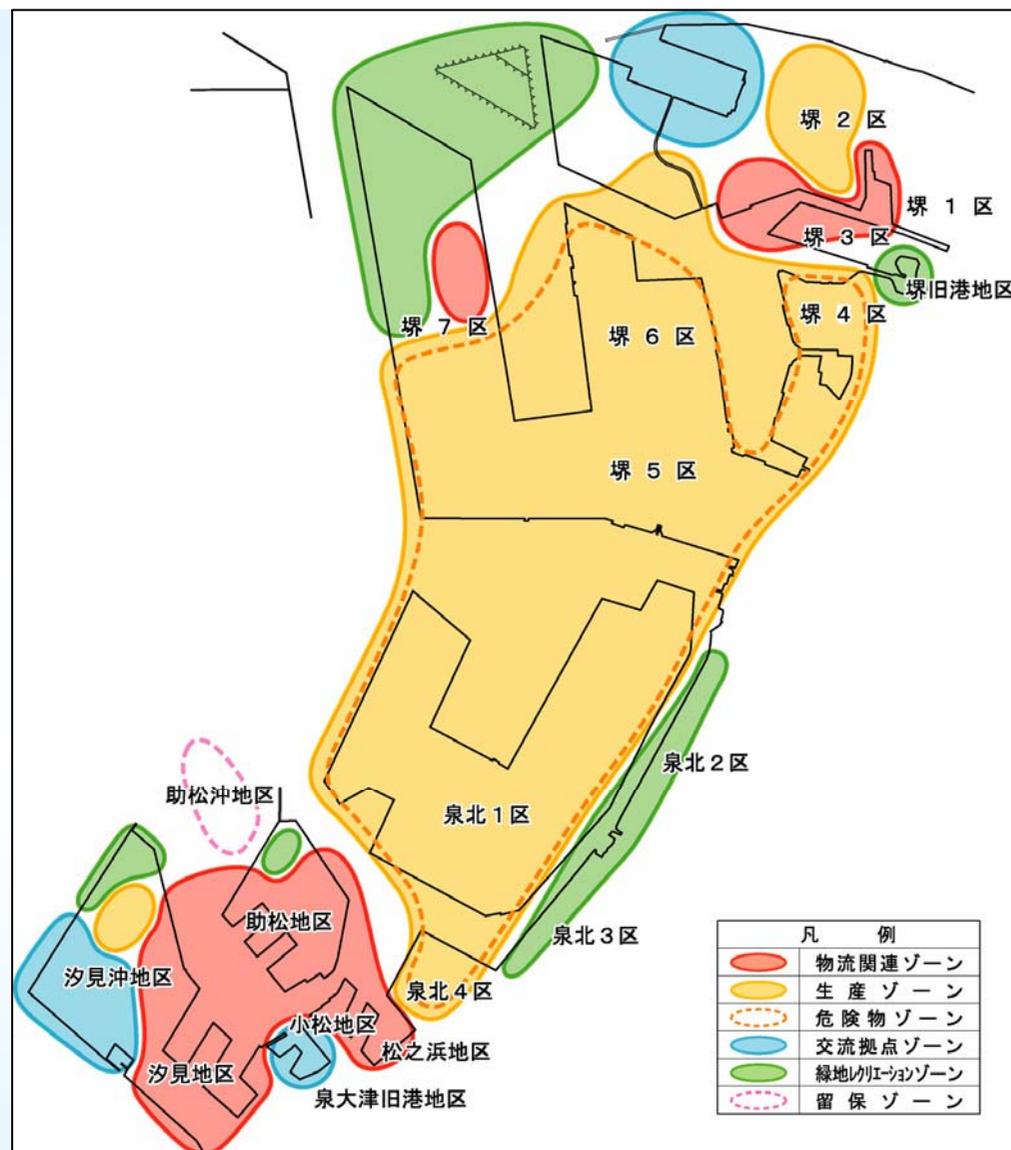
【改訂のポイント】

【物流】特定の貨物に対する
拠点港の形成

【交流】にぎわい・交流拠点の
形成

【環境】快適な親水空間と生物
生息空間の形成

【安全】広域的な大規模災害への
対応



堺泉北港港湾空間利用ゾーニング図

【交流】にぎわい・交流拠点の形成

【課題】

- ・ 臨海部での一層のにぎわい・交流空間の形成が望まれる
- ・ 海洋性レクリエーション需要の増大

【対応】

- ・ 遊覧観光ネットワークの構築を図るため、旅客船埠頭を計画
- ・ 海洋性レクリエーション需要に対応するためマリーナを計画



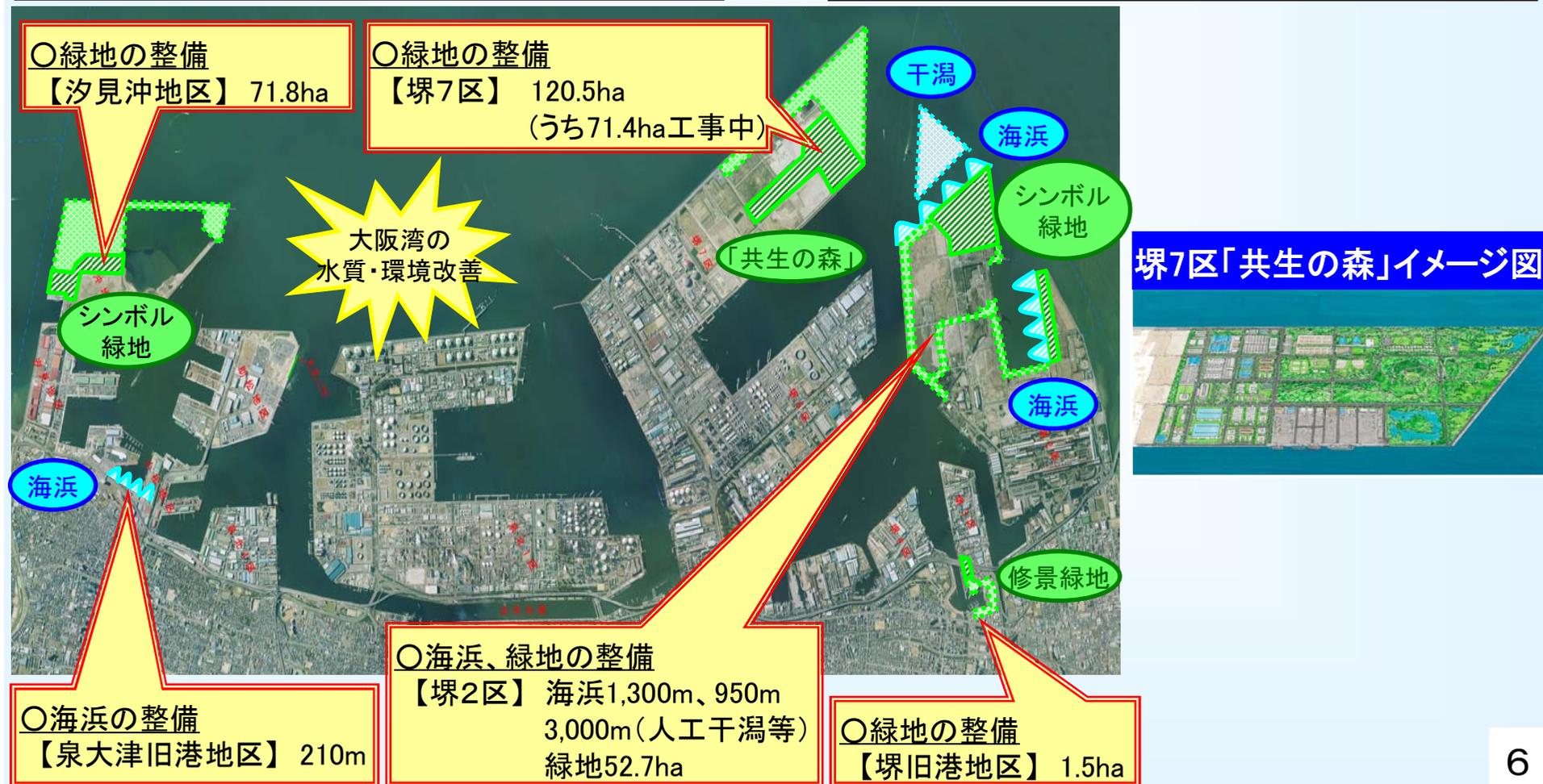
【環境】快適な親水空間と生物生息空間の形成

【課題】

- 大阪湾の水質・環境改善と生物生息空間の確保
- 人が海を眺め触れ合うことのできる水際線は少ない

【対応】

- 干潟、海浜、大規模緑地等多様な自然環境を配置
- 市街地に近接した既存緑地の前面部において、海浜を計画



【安全】広域的な大規模災害への対応

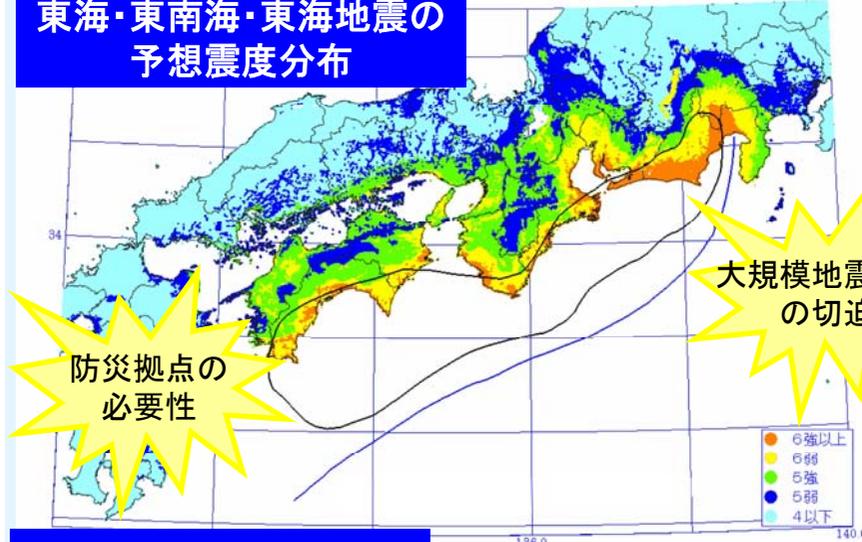
【課題】

- 東南海・南海地震を始めとする大規模地震等の対策
- 府県境を越えた広域的な防災機能の確保

【対応】

- 堺2区において、大規模地震対策施設を計画
 - 耐震強化岸壁、臨港道路、緑地

東海・東南海・東海地震の
予想震度分布



防災拠点イメージ図



府県境を越えた
広域的な
防災機能の確保
〔耐震強化岸壁
臨港道路
緑地〕

今回計画図 (堺2区)



緑地
○物資保管ヤードとしての活用
緑地 30.8ha

臨港道路
○岸壁と緑地との連絡
臨港道路 堺北1・2号線

耐震強化岸壁
○緊急物資の輸送等
水深-10m 岸壁1バース 延長170m (改良)
水深-7.5m 岸壁1バース 延長130m (改良)

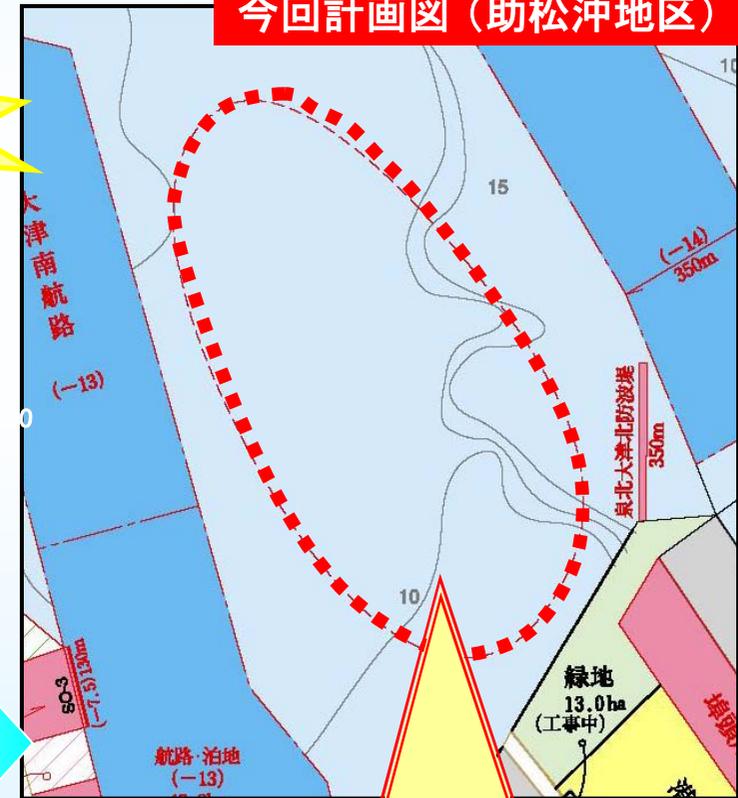
【その他】開発空間の留保

【課題】

- 大阪湾における物流機能分担が必要
- 将来の堺泉北港の物流機能の増強を図る空間は必要

【対応】

- 助松沖地区埋立計画を削除
- 将来の貨物需要・土地需要に対応するための開発空間を留保



開発空間の留保